

「たまり水をなくす」 蚊の隠れ場所をなくす

Dengク熱などの感染症は、ウイルスを持っている蚊に刺されることで感染します。感染を予防するには、周囲に蚊を発生させないことが大切です。蚊を発生させない・蚊に刺されない対策を行いましょう。

- Dengク熱などの感染症は、ウイルスを持っている蚊に刺されることで感染します。
- たまり水ができてしまう不要なものは片付けましょう。
- また、植木鉢の受け皿などは週1回、水を入れ替えましょう。
- 蚊に刺されるのを防ぐポイント
- ペランダや家の周囲のたまり水をなくす
- 室内へ蚊を入れない
- 屋外では肌の露出を減らす
- 殺虫剤を適切に使う
- 蚊はぶよや草むらに隠れて、待ち伏せしているの、草刈りを定期的に行いましょう。

地域仲間とKOTO活き粋体操を活用した体操サークルを作りませんか

コロナ禍の感染症対策により、今まで通っていた場所や教室に参加できない、人との交流が減ってしまった等のお悩みはありませんか。

- 住み慣れた地域の仲間やお友達とKOTO活き粋体操を行う場所を作って、みんなで元気になる地域を目指しましょう。
- 登録前に区が行う出前講座「これからお元気!応援講座」を受講する必要があります。詳細はお問い合わせください。
- 「登録条件」
- おおむね65歳以上の区民3人以上の団体
- 週1回以上、KOTO活き粋

ひとり親世帯の方へ

子育て世帯生活支援特別給付金(ひとり親世帯分)を支給します

自転車安全利用の交通ルール

「安全・安心に通れる道路へ」

「ながら運転は禁止!」

「傘差し運転」スマートフォン等使用運転「イヤホン使用運転(ただし、補聴器を使用する場合は除く)」は絶対によめましよう。

※罰則: 5万円以下の罰金

「車道は左側通行」

自転車は「車道の左側端に寄って通行」しましょう。右側の通行は「逆走」です。

※罰則: 3か月以下の懲役または5万円以下の罰金

1. 自転車は、車道が原則、歩道は例外※

2. 車道は左側を通行

3. 歩道は歩行者優先で、車道寄りを行く

4. 安全ルールを守る

- 飲酒運転・二人乗り・並進の禁止
- 夜間はライトを点灯
- 交差点での信号遵守と一時停止・安全確認

5. 子どもはヘルメットを着用

※自転車では歩道を通行することができる場合

- 歩道に「普通自転車歩道通行可」の標識等があるとき
- 13歳未満の子どもや70歳以上の高齢者、身体の不自由な人が自転車を運転しているとき
- 自転車の通行の安全を確保するためにやむを得ないと認められるとき

家庭教育フアンシリテーター養成講座基礎編

ドアなどの開放しや網戸の破れに注意し、室内への侵入を防ぎましょう。

- 屋外では長袖シャツや長ズボンを着用し、肌の露出を防ぎましょう。また、必要に応じて虫よけ剤を使用しましょう。
- 殺虫剤を使う場合は、説明書をよく読んで、適量を使用しましょう。
- ※区では、蚊の発生源となる雨水マスに薬剤を投入していただく協働団体(町会・自治会、マンション管理組合等)を募集しています。協力いただける団体は、ご連絡ください。
- 関係者所生衛生課環境衛生係 ☎3647-5862 FAX3647-7171

江東区自修大学

江東区自修大学は、高齢者の皆さんが生きがいある生活を送ることを目的とした生涯学習の場として、社会、生活、歴史、文学、健康等さまざまな分野を学びます。このたび、好評のシリーズ講座を拡大して、より深い内容で開講します。

- 8月29日(月) 令和5年2月1日(水)
- 場下表のとおり
- 区内在住で60歳以上の方、深川クラス各50人、城東クラス各40人、亀戸クラス30人、東雲クラス40人(昨年度自修大学を未受講の方を優先し、抽選)
- 費500円(資料代)
- 全6クラス・20講座(合同)

家庭教育フアンシリテーター養成講座基礎編

各地域で、「こどもの自立や成長を支えるために家庭でできる役割」を学びあう学習会を主宰できるファシリテーターを養成します

- 7月5日(火) 必着
- 区ホームページまたははがきにて①講座名②郵便番号・住所③氏名(ふりがな)④電話番号を記入し、〒135-8383区役所地域教育課地域学習支援係 ☎3647-9676 FAX3647-9274

夏休み環境学習会

木とふれあいを通して、環境について学びます

- 8月9日(火) 午前8時半
- 正午 区役所 東京木材保護者1人につき小学生1人
- 市場 新木場2-1-8、フジクラ木場千年の森(木場1-2) ※バス移動
- 区内在住の小学生と保護者10組20人(抽選。当選者のみ)
- 7月19日(火) までに通知
- 深川ふれあいセンター ☎3643-1902 FAX3630-6719

夏休み環境学習会

「親と木のイソの工作とオガデンの見学」

木とふれあいを通して、環境について学びます

※バス移動

区内在住の小学生と保護者10組20人(抽選。当選者のみ)

7月19日(火) までに通知

深川ふれあいセンター

☎3643-1902 FAX3630-6719

2 バイク編

このコーナーでは、交通に関する身近に潜む危険を避けるための知識をクイズ形式で紹介していきます。

- 第1問の答え: ②
- 令和3年のバイク関与割合は約20%で、199件でした。また、区内では全交通事故死者数のうち、バイクが関与する事故死者数の割合が約26%(35人)と、全国と比べて高い割合となっています。
- 第2問の答え: ①
- 令和3年に、区内で発生した交通事故のうち、バイクが関与している割合は、次のうちどれでしょう。
- ①約10%
- ②約20%
- ③約30%
- ④約40%

令和3年に、区内で発生したバイクの死亡事故のうち、最も多かった事故類型は次のうちどれでしょう。

- 第1問
- 令和3年に、区内で発生した交通事故のうち、バイクが関与している割合は、次のうちどれでしょう。
- ①約10%
- ②約20%
- ③約30%
- ④約40%

認知症サポーター養成講座

「認知症は誰しもなり得る身近な脳の病気です。2025年には65歳以上の5人に1人が認知症になるといわれています。認知症の人やその家族が安心して地域で生活が営んでいくためには、地域の人が認知症について理解を示して下さることがとても大切です。」

認知症サポーター養成講座は、認知症について正しく理解し、偏見を持たず、認知症の人や家族に対して暖かい目で見守る認知症サポーターを養成する講座です。7月・9月は特別編として開催します。受講された方には、区オリジナル認知症サポーターカードをさしあげます。

①別表1のとおり

②無料

③7月1日(金) 午前9時から、区ホームページまたは電話 ☎3647-4398 FAX3647-3165

④地域ケア推進課地域ケア係 ☎3647-4398 FAX3647-3165

⑤区内の自治会、町会、学校、きずくクラブなどに認知症サポーター養成講座講師を無料で派遣しています。まずは、地域の長寿サポートセンター(別表2のとおり)または地域ケア推進課地域ケア係へお問い合わせください。

ひとり親世帯の方へ

令和4年4月分の児童扶養手当受給者の方には、案内をお送りし、6月下旬に児童扶養手当指定の口座に支給します(申請不要です)。

- ひとり親世帯の方で申請が必要な方やひとり親世帯以外の方への支給については、区ホームページおよび7月1日号の区報でお知らせします
- こども家庭支援課係 ☎3647-4754 FAX3647-9196

新型コロナウイルス感染症による影響が長期化する中で、食費等の物価高騰等に直面する低所得の子育て世帯に対し「子育て世帯生活支援特別給付金(ひとり親世帯分)」の支給を実施することになりました。

令和4年4月分の児童扶養手当受給者の方には、案内をお送りし、6月下旬に児童扶養手当指定の口座に支給します(申請不要です)。

認知症サポーター養成講座

「認知症は誰しもなり得る身近な脳の病気です。2025年には65歳以上の5人に1人が認知症になるといわれています。認知症の人やその家族が安心して地域で生活が営んでいくためには、地域の人が認知症について理解を示して下さることがとても大切です。」

認知症サポーター養成講座は、認知症について正しく理解し、偏見を持たず、認知症の人や家族に対して暖かい目で見守る認知症サポーターを養成する講座です。7月・9月は特別編として開催します。受講された方には、区オリジナル認知症サポーターカードをさしあげます。

①別表1のとおり

②無料

③7月1日(金) 午前9時から、区ホームページまたは電話 ☎3647-4398 FAX3647-3165

④地域ケア推進課地域ケア係 ☎3647-4398 FAX3647-3165

⑤区内の自治会、町会、学校、きずくクラブなどに認知症サポーター養成講座講師を無料で派遣しています。まずは、地域の長寿サポートセンター(別表2のとおり)または地域ケア推進課地域ケア係へお問い合わせください。

認知症サポーター養成講座

「認知症は誰しもなり得る身近な脳の病気です。2025年には65歳以上の5人に1人が認知症になるといわれています。認知症の人やその家族が安心して地域で生活が営んでいくためには、地域の人が認知症について理解を示して下さることがとても大切です。」

- 認知症サポーター養成講座は、認知症について正しく理解し、偏見を持たず、認知症の人や家族に対して暖かい目で見守る認知症サポーターを養成する講座です。
- 7月・9月は特別編として開催します。受講された方には、区オリジナル認知症サポーターカードをさしあげます。
- ①別表1のとおり
- ②無料
- ③7月1日(金) 午前9時から、区ホームページまたは電話 ☎3647-4398 FAX3647-3165
- ④地域ケア推進課地域ケア係 ☎3647-4398 FAX3647-3165
- ⑤区内の自治会、町会、学校、きずくクラブなどに認知症サポーター養成講座講師を無料で派遣しています。まずは、地域の長寿サポートセンター(別表2のとおり)または地域ケア推進課地域ケア係へお問い合わせください。

認知症サポーター養成講座

「認知症は誰しもなり得る身近な脳の病気です。2025年には65歳以上の5人に1人が認知症になるといわれています。認知症の人やその家族が安心して地域で生活が営んでいくためには、地域の人が認知症について理解を示して下さることがとても大切です。」

認知症サポーター養成講座

「認知症は誰しもなり得る身近な脳の病気です。2025年には65歳以上の5人に1人が認知症になるといわれています。認知症の人やその家族が安心して地域で生活が営んでいくためには、地域の人が認知症について理解を示して下さることがとても大切です。」

認知症サポーター養成講座は、認知症について正しく理解し、偏見を持たず、認知症の人や家族に対して暖かい目で見守る認知症サポーターを養成する講座です。7月・9月は特別編として開催します。受講された方には、区オリジナル認知症サポーターカードをさしあげます。

①別表1のとおり

②無料

③7月1日(金) 午前9時から、区ホームページまたは電話 ☎3647-4398 FAX3647-3165

④地域ケア推進課地域ケア係 ☎3647-4398 FAX3647-3165

⑤区内の自治会、町会、学校、きずくクラブなどに認知症サポーター養成講座講師を無料で派遣しています。まずは、地域の長寿サポートセンター(別表2のとおり)または地域ケア推進課地域ケア係へお問い合わせください。

認知症サポーター養成講座

「認知症は誰しもなり得る身近な脳の病気です。2025年には65歳以上の5人に1人が認知症になるといわれています。認知症の人やその家族が安心して地域で生活が営んでいくためには、地域の人が認知症について理解を示して下さることがとても大切です。」

- 認知症サポーター養成講座は、認知症について正しく理解し、偏見を持たず、認知症の人や家族に対して暖かい目で見守る認知症サポーターを養成する講座です。
- 7月・9月は特別編として開催します。受講された方には、区オリジナル認知症サポーターカードをさしあげます。
- ①別表1のとおり
- ②無料
- ③7月1日(金) 午前9時から、区ホームページまたは電話 ☎3647-4398 FAX3647-3165
- ④地域ケア推進課地域ケア係 ☎3647-4398 FAX3647-3165
- ⑤区内の自治会、町会、学校、きずくクラブなどに認知症サポーター養成講座講師を無料で派遣しています。まずは、地域の長寿サポートセンター(別表2のとおり)または地域ケア推進課地域ケア係へお問い合わせください。

認知症サポーター養成講座

「認知症は誰しもなり得る身近な脳の病気です。2025年には65歳以上の5人に1人が認知症になるといわれています。認知症の人やその家族が安心して地域で生活が営んでいくためには、地域の人が認知症について理解を示して下さることがとても大切です。」

認知症サポーター養成講座

「認知症は誰しもなり得る身近な脳の病気です。2025年には65歳以上の5人に1人が認知症になるといわれています。認知症の人やその家族が安心して地域で生活が営んでいくためには、地域の人が認知症について理解を示して下さることがとても大切です。」

認知症サポーター養成講座は、認知症について正しく理解し、偏見を持たず、認知症の人や家族に対して暖かい目で見守る認知症サポーターを養成する講座です。7月・9月は特別編として開催します。受講された方には、区オリジナル認知症サポーターカードをさしあげます。

①別表1のとおり

②無料

③7月1日(金) 午前9時から、区ホームページまたは電話 ☎3647-4398 FAX3647-3165

④地域ケア推進課地域ケア係 ☎3647-4398 FAX3647-3165

⑤区内の自治会、町会、学校、きずくクラブなどに認知症サポーター養成講座講師を無料で派遣しています。まずは、地域の長寿サポートセンター(別表2のとおり)または地域ケア推進課地域ケア係へお問い合わせください。



こここひネットは、地域で活動する団体のイベント情報・活動情報などが集まるポータルサイトです。地域活動やイベントへの参加につながる身近な情報収集の場として、また登録団体から区民の皆さんへの情報発信の場としてご利用ください。 https://kotoconnect.net/ ※右記の二次元コードから入れます 区民協働推進担当 ☎3647-8570、FAX3647-8441



新型コロナウイルスワクチン4回目接種 基礎疾患があり接種を希望する方はご連絡を 18歳から59歳で基礎疾患(※)があり4回目接種を希望する方は、コールセンターにお電話ください ※基礎疾患の範囲等の詳細は区ホームページをご覧ください 区江東区新型コロナウイルスコールセンター ☎0120-115-721(土・日曜、祝日含む8:30~17:30)

凡例 時日時 場所 集集合 人対象・定員 費用 内容 師講師 保一時保育 締締切日 申申込 問問合先 HPホームページ Eメール